歯科医師国家試験制度改善検討部会	参考資料	
令和6年8月29日	3	

歯科医療提供体制等に関する 議論の状況

歯科専門職・歯科医療提供体制の確保(第8次医療計画のポイント)

地域の歯科医療提供体制の状況や、歯科専門職の配置状況の把握を行った上で、医科歯科連携における歯科の果たす役割を認識し、病院の規模や機 能に応じて地域の歯科医療従事者を病院において活用することや、病院と歯科診療所の連携を推進することなど、地域の実情を踏まえた取組を推進する。

体重減少のリスクと口腔衛生管理の関係

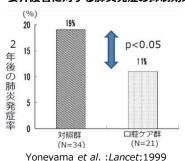
歯科専門職確保のため、地域医療介護総合確保基金を積極的に活用する。

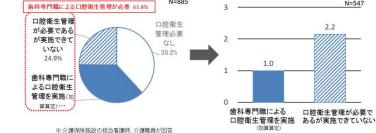
医科歯科連携の重要性

歯科医師が入院患者の口腔の管理を行うことによって、在院日数の短縮や肺炎発症の抑 制に資することが明らかとなる等、口腔と全身の関係について広く知られるようになり 医科歯科連携の重要性が増している。

入所者の口腔衛生管理の必要性と提供状況

術後の回復過程に及ぼす効果 入院患者に対する在院日数削減効果 (ng/ml) 心臓血管外科術後血中CRP値 ■口腔機能管理非施行群 53名 口腔機能管理施行群 110名 60 Mannwhitney p-value<0.05 (=0.038)(=0.0019) Mannwhitney test p-value<0.05 (=0.01)術後1日目 術後7日目 術後14日目 術後21日目 出典:第84回社会保障審議会医療保険部会(H26.11) 出典:第84回社会保障審議会医療保険部会(H26.11) 堀憲郎委員提出資料 堀憲郎委員提出資料 千葉大学医学部附属病院における介入試験結果 千葉大学医学部附属病院における介入試験結果 体重減少のリスクと口腔衛生管理の関係 要介護者に対する肺炎発症の抑制効果





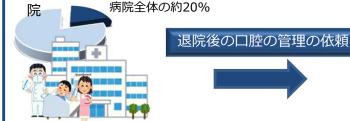
※ 入所者の年齢、性別、BMI、ADL、CDR、既往歴を調整 出典: 令和元年度 老人保健健康増進等事業 | 介護保険施設等における口腔の健康管理等に 関する調査研究事業報告書」の数値を再分析

地域の実情に応じた歯科医療体制の確保

地域の実情を踏まえて、病院に歯科専門職を配置することや、病 院と地域の歯科専門職の連携が重要。

病院と地域の歯科診療所等の連携のイメージ

歯科の標榜がある病



歯科診療所等



歯科の標榜がない病院



口腔の管理の依頼

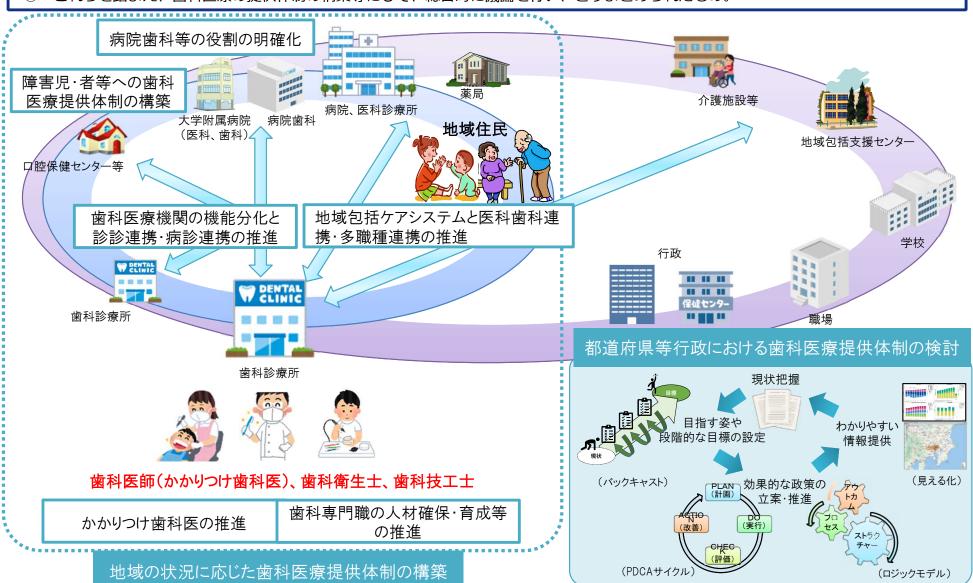


歯科診療所等



歯科医療提供体制等に関する検討会 中間とりまとめ

- 少子高齢化による人口構成の変化や歯科疾患の罹患状況の変化、医療や介護等における歯科保健医療に対するニーズの多様化等により、 歯科保健医療を取り巻く状況が大きく変化している状況に対応するため、地域の状況に応じた歯科医療提供体制を構築することが求められている。
- これらを踏まえ、歯科医療の提供体制の構築等にして、総合的に議論を行い、とりまとめられたもの。



歯科医療提供体制等に関する検討会 中間とりまとめ

(1)かかりつけ歯科医の役割

- ○住民・患者ニーズへのきめ細やかな対応、切れ目のない提供体制の確保、他職種との連携の確保
- ○訪問歯科診療や障害児・者への対応、患者の基礎疾患や認知症の有無、 多剤服用に係る状況等への理解、ライフステージに応じた歯科疾患の予 防や口腔の管理への対応
- ○かかりつけ歯科医を持つことができる歯科医療提供体制の構築や、かかりつけ歯科医を持つ意義についての普及啓発等の推進
- ○新興感染症発生・拡大時における歯科医療提供体制の整備

(3)病院歯科等の役割

- ○それぞれの地域における役割の明確化
- ○歯科医療従事者の配置状況や機能等の把握・分析
- ○果たす役割を認識し、歯科診療所等との連携の推進
- ○医科歯科連携の推進(入院患者等に対する口腔の管理等)
- ○歯科医療資源の再構成による機能分化や連携体制の構築等、既存の歯 科診療所や有床診療所等の効果的な活用について併せて検討することの 重要性

(5)障害児・者等への歯科医療提供体制

- ○障害の内容や重度別の分析に加え、対応が可能な歯科医療機関の機能 の見える化
- ○いわゆる口腔保健センターや規模・特性の多様化を踏まえた歯科診療 所に求められる役割の整理
- ○ハード(設備整備等)及びソフト(人材育成、多職種連携等)の両面 での取組の充実
- ○医療的ケア児を含め障害児・者等が、地域の歯科医療ネットワーク等、 地域で支えられ歯科医療を受けることができる歯科医療提供体制の構築

(2)歯科医療機関の機能分化と連携

- ○各歯科医療機関の機能の把握・見える化の推進
- ○国民・患者からの多様化するニーズへの対応や高い専門性を有することが求められるため、診診連携・病診連携の推進により、地域においてカバーできる体制づくりの必要性
- ○ICTの利活用等の推進
- ○歯科医療資源に応じた機能分化や連携の在り方等、地域特性に応じた 歯科医療提供体制の構築の検討

(4) 地域包括ケアシステムにおける医科歯科連携・多職種連携

- ○他職種の口腔の管理への関心を高めるため、他職種からの歯科医療に 対するニーズを把握し、相互理解を深めることの重要性
- ○対応が可能な歯科医療機関の機能を含めた歯科医療資源の見える化
- ○他職種等に対し、口腔に関する理解を深めてもらうため、学部・専門 分野の教育の段階から、口腔の管理の重要性等を学ぶ機会の充実
- ○人生の最終段階における口腔の管理に対する歯科専門職が関与することの重要性

(6) 歯科専門職種の人材確保・育成等

- ○歯科専門職が健康に働き続けることのできる環境を整備することの重要性
- ○学部教育から臨床研修、生涯研修におけるシームレスな歯科医師育成
- ○円滑な多職種連携の推進のため、学部教育の段階から他職種の役割等 を継続的に学び、交流を行いながら理解を促進
- ○歯科衛生士及び歯科技工士の確保(人材確保、職場環境の整備等)
- ○行政、教育機関、関係団体や関係学会等が特性を活かし合い、連携しながら、知識や技術をスキルアップするのための取組の実施

(7) 都道府県等行政における歯科医療提供体制の検討の進め方について

- ○地域ごとの歯科医療資源や住民ニーズの把握・見える化、PDCAサイクルに基づく取組の推進、計画的な評価の実施
- ○歯科医療提供体制の目指す姿を設定し、バックキャストで考えることの重要性
- ○地域の関係団体等と連携し、目指す姿や目標等の共通認識を深めながら取り組むことの重要性